

## 第32回山梨県管打楽器ソロコンテスト感染防止安全計画

第32回山梨県管打楽器ソロコンテストを開催するにあたり次の通り計画・実行する。  
開催に当たっては、「三つの密」が発生しない席の配置や「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、開催中や前後における参加者等に係る行動管理等、基本的な感染防止策を講じるとともに、入館者の連絡先等を把握する。

また、法第31条の6第1項等に基づき、「入場をする者の整理等」「入場をする者に対するマスクの着用の周知」「感染防止措置を実施しない者の入場の禁止」「会話等の飛沫による感染の防止に効果のある措置（飛沫を遮ることができる板等の設置又は利用者の適切な距離の確保等）」等を実施する。

### 1. 共通

#### a. 感染防止の責任者の配置

大会等の開催に係る新型コロナウイルスへの感染防止の責任者を大会事務局長とする。

#### b. 感染防止措置の周知

感染防止のため実施すべき事項や大会等に参加する出演者、伴奏者等（以下「参加者等」という）が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、周知する。

JBA山梨県部会ホームページに掲載

<http://jbay.officeismusic.com>

c. 体調管理 日常の健康管理は勿論のこと、1月28日より細目にわたる項目を確認し、全ての項目に異常がない事を確認出来た参加者等は当日入館時に提出し、検温のうえ問題がなければ入館可能とする。

d. 入館管理 館内に入館するものは健康管理シートの提出を義務づける。

健康管理シートには体調状況の他、出演するものとの関係並びに連絡先を明記。

滞在できる時間は出演関係者の受付時間から本番終了までの70分間とする。

#### e. マスクの着用等

参加者等に対してマスクを準備させ、演奏中を除き原則として大会中は着用させる。

マスクを着用して十分な呼吸ができず人体に悪影響を及ぼす可能性があることや熱中症のリスクが高くなること、息苦しさを感じた時はすぐにマスクを外すことや休憩をとること等、無理をしないこと

について注意する。

マスクを持参していない者がいた場合は主催者側で販売することにより、マスク着用率 100%を担保する。

f. 清掃・除菌等

- 入口、練習室入口、リハ室入口、楽屋入口、ステージ上手にアルコール75%及び次亜塩素酸溶液を設置し、手指など随時消毒する。実行委員会で準備したものが体質に合わない場合は各自で準備したものを使用する。
- 参加者等が手洗いをこまめに行えるよう、手洗い場に石鹸（ポンプ型）を用意する。
- 「手洗いは30秒以上」等の掲示をする。
- 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意する。また、手洗い後に手をふくために参加者等にマイタオルを持参させる事を推奨する。
- 布タオルや手指を乾燥させる設備使用しないようにする。

g. 換気

- 室内は、換気の悪い密閉空間とならないよう、換気設備を適切に運転することや、休憩時間毎に扉を開け外気を取り入れる等の十分な換気を行う。
- 演奏、審査に影響のない扉は開放する。

h. ゴミの廃棄

- 参加者に対しゴミ（マスクや鼻水、唾液等がついたもの等）を持ち帰らせることを義務付けるとともに、その内容を周知する。
- ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用するとともに、マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒させる。

i. 十分な距離の確保

- 本番、リハーサル、練習中以外は、感染予防の観点から、周囲の人と2mを目安に（最低1m）の距離を空ける。

j. 飲食

- 原則禁止とする。但し、乾燥対策や体調管理のために摂取することは可能とする
- 飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行う。
- 飲料はペットボトル・ビン・缶や使い捨ての紙コップを使用させ、共有しない。
- 飲みきれなかった飲料等を洗面所、トイレなどに遺棄しない。

k. 開、閉会式・表彰式等

式典は実施しない。（司会者（かげMC）が開閉会を告知する）  
成績発表は山梨県部会ホームページにて実施

## 2. 大会参加者（出場者・伴奏者などステージに登壇する者）

共通事項の他、次の通り実施する。

- a. 演奏形態 指定された会場にて実演で演奏する。但し、感染が懸念される場合は指定された期間に録音した音源にて参加することを可能とする。音源参加に対する詳細は別途定める。
- b. 基本行動
  - ・受け付け終了後、自由練習会場にて音出しを行う。（30分）
  - ・2階練習会場（管楽器）は5メートル間隔・12区画に、1階練習会場（打楽器）は楽器の移動時を除き演奏者のみが入室可能とする。
  - ・集合時間に受付を通り、リハーサルへ（伴奏者合流）
  - ・ステージ上手待機→本番→退場→片付け→退館

※滞在時間70分

※随所で手指消毒、移動時はマスク着用。
- c. 入室制限
  - ・2階練習会場（管楽器）には出演者・伴奏者・引率者（指導者）のみが入室できる。（専用の青タグ、緑タグ）
  - ・1階練習会場（打楽器）は楽器の移動時を除き出演者・伴奏者・引率者（指導者）のみが入室できる。但し、移動が終了した補助員は滞在する事は出来ない（木工室待機・青タグ、緑タグ、赤タグ）

※別紙参照
- d. 衛生管理
  - ・管楽器の特性として、唾が出ることは避けられない。管内に溜まった唾は水分吸収シートへ排出する。このシートは常時携帯し本番においてもステージ上に置いておく。
  - ・リハーサル室のピアノと譜面台は各自で、ステージのピアノと譜面台は係員がひとり毎に除菌クロスで清掃する。清掃したクロスは指定された蓋付きのゴミ箱に廃棄する。
- e. 十分な距離の確保  
本番やリハーサル等の入れ替えの際には、十分な時間を設定しているので、出演者同志が極端に接触しないようにする。

## 3. 来館者

- a. 入館制限
  - ・観客として入館できる者は共通事項に加え、出場者の関係者とする。実行委員会で想定しているのは家族及び指導者、引率者としている。健康管理シートに関係性並びに連絡先記入を必須としているため追跡が可能である。
  - ・指導者、引率者については専用のタグにて管理する。
- b. 入館人数
  - ・本大会は一人5分間でタイムテーブルを組んでおり、内1分を移動時間としている。観客として客席に収容する想定は出演者一人

に対して4名。1時間最大出演者12名なので客席には48名が滞在。審査員3名と実行委員3名では常駐ではあるが収容率は18%を予想。最大20%に留める。

- まん延防止等重点措置又は同様の要請があった場合、関係機関と協議の上、無観客とする。但し、演奏に関する助言を与える引率者及び指導者については入館時間を限定し、入館を許可する。

(対象はタグ配布対象の者)

- c. 感染予防
  - ステージ端から観客との距離を十分確保する。最前列より8列は使用しない。また、観客の座席間は二席あけて着席させる。
  - 本来、音に対するコンテストであるため静粛は基本であるが、大声での声援を送らないことや会話を控えること、マスクを着用すること等の留意事項を周知する。(入口に掲示)
  - 会話する者がいた場合は個別に注意等を行うこと。

- d. 識別
  - 客席に入室できる者は受付にて確認後関係する出演者の出演番号を実行委員が記載したシールをひだり腕に貼付けた者のみとし、当該出演者の演奏が終了したら速やかに退館する。

(客席内実行委員が管理)

入室は後方の扉を使用、退室前方右側の扉とし一方通行とする。

以 上

## 第32回 山梨県管打楽器ソロコンテスト運営マニュアル

### 来館者の動向

#### 出演者・伴奏者の流れ

1. 到着後、受付にて健康管理シート提出 → A Iサーモカメラにて最終検温  
氏名の読み方を確認後 青のタグを受け取り首に掛ける
2. 2階練習室へ移動しウォームアップ
3. 集合時間に再度、本番へ向かえる準備をして通過
4. リハーサル室で最終練習
5. ステージ上手袖待機 → タグを返却
6. 本番 → 終了後下手退場
7. 2階へ移動し片付けをして退館

#### 補助員の流れ

1. 到着後、出場者に同行して受付にて健康管理シート提出 → A Iサーモカメラにて最終検温。赤のタグを受け取り首に掛ける。譜めくりは該当出演者の集合時間に再度集合する。
2. 楽器移動補助員は搬入後、木工室で待機。 集合以後出場者に同行
3. 受付にタグをまとめて返却後退館

#### 観客の流れ

1. 該当出場者の受付時間以後に受付にて健康管理シート提出  
→ A Iサーモカメラにて最終検温
2. 該当出場者の出演番号を記載したシールを左腕に貼る
3. ホール客席にて鑑賞（再入場不可）
4. 該当出場者の本番終了後 退室 退館

#### 団体引率者・出場団体指導者

1. 到着後、受付にて健康管理シート提出 → A Iサーモカメラにて最終検温  
緑のタグを受け取り首に掛ける。
2. 最終の該当出場者の本番終了後 受付にタグを返却後 退館

#### 来賓・来客

1. 到着後、受付にて健康管理シート提出 → A Iサーモカメラにて最終検温  
白のタグを受け取り首に掛ける。
2. 用件終了後 受付にタグを返却後 退館